

通信制高校教育の 現状について

～令和の高校教育に求められているもの～

令和6年7月26日（金）

第11回大阪府認可私立通信制高校教育研修会

大阪通信制高校グループ

八洲学園高等学校 副校長 吉田 士文



大阪私立中学校高等学校連合会
大阪通信制高校グループ

1 大阪通信制高校グループとは

2 通信制高校の基本知識

3 数字で見る通信制高校

4 大阪の通信制高校の現状

5 今後の通信制高校教育

大阪通信制高校グループとは

1 2014年にグループ発足

2 通信制高校の正しい情報と実態を大阪府より情報発信

3 通信制教育の質の向上のための連携と情報交換



大阪通信制高校グループHP



「通信制ではできない。通信制では足りない」ではなく
「通信制だからできる。通信制にしかできない」へ



大阪私立中学校高等学校連合会
大阪通信制高校グループ

1 大阪通信制高校グループとは

2 通信制高校の基本知識

3 数字で見る通信制高校

4 大阪の通信制高校の現状

5 今後の通信制高校教育

通信制とは

- 通信制高校は全日制・定時制に並ぶ課程で、学習量の基準が異なる。
- 各教科・科目ごとにスクーリング（登校による面接指導）とレポート（添削指導）の回数が1単位ごとに決められている。
- 登校形態は週に1日登校、2日・3日登校、毎日登校など多様な形態がある。

各教科・科目	面接指導時間 (単位時間)	添削指導 (回数・通数)
国語・地理歴史 公民・数学	1	3
理科	4	3
保健体育（体育）	5	1
保健体育（保健）	1	3
芸術・外国語	4	3
家庭・情報 専門教科科目	2～8	2～8



「登校しなければならない」という最低学習量基準で考えられる学習形態であったが、近年は変化が生じている。

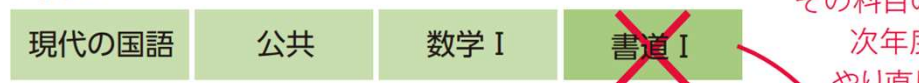


単位制とは

- 学年ではなく、単位を基準として学習量が決定される仕組み。
- 年間の履修可能単位数は学校により異なる。
- 単位を基準に考えるため、「留年」や「原級留置」がない。

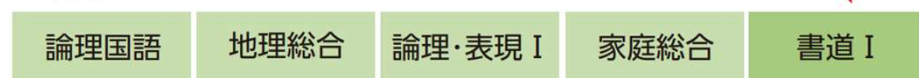
<単位制の仕組み>

1年次生



その科目のみ
次年度に
やり直しが
出来る

2年次生

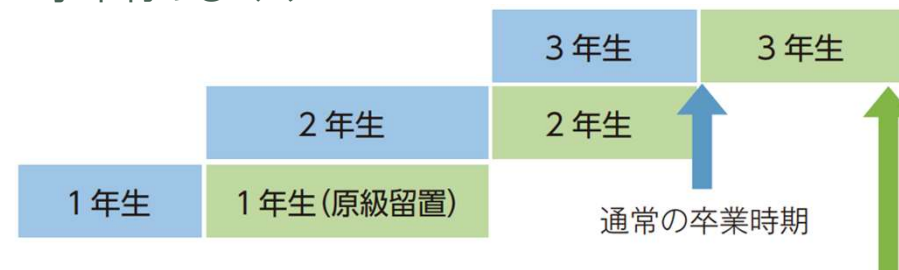


単位制は、個人別に学習単位(履修単位)を決定するため、同じクラスであっても学習量が異なるケースもあり、仮に単位修得できないケースがあっても、次年度に再履修することができます。

<単位制学習パターン>

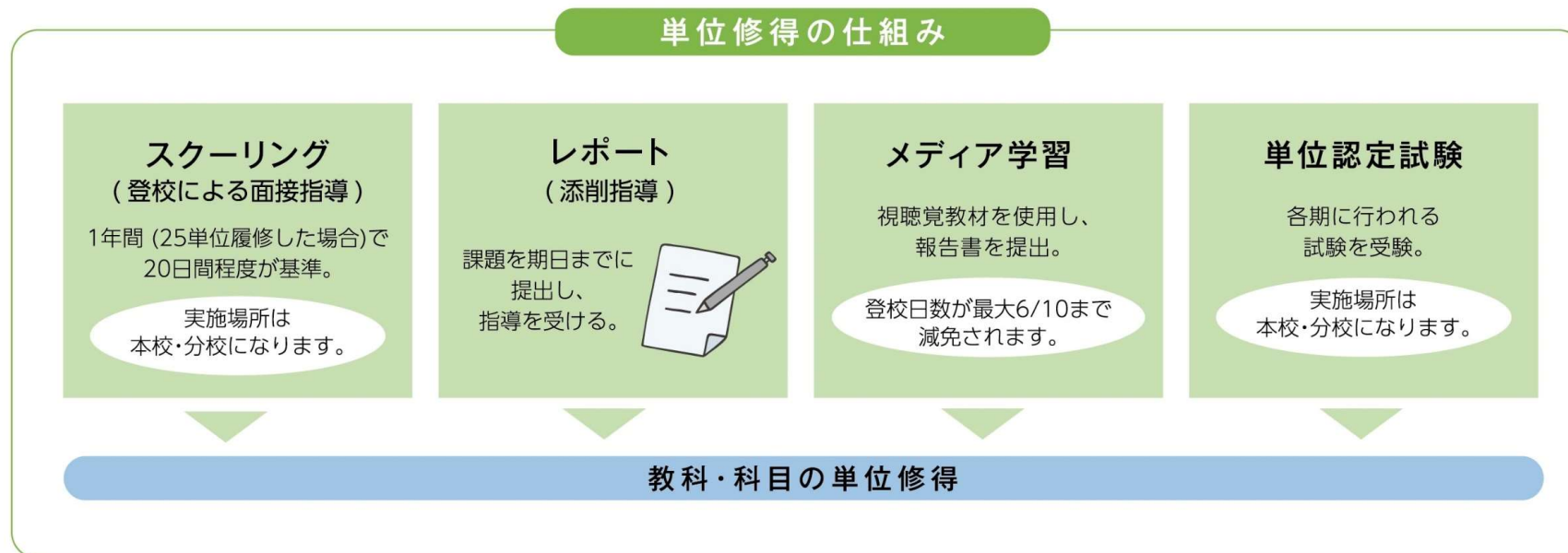
年次	学習量 パターン①	学習量 パターン②	学習量 パターン③
1年次生	14単位	25単位	10単位
2年次生	30単位	25単位	15単位
3年次生	30単位	24単位	20単位
4年次生			29単位
合計	74単位 (以上)	74単位 (以上)	74単位 (以上)

<学年制のしくみ>



学年制の学校は学年ごとの学習量が単位数によって固定されています。同じクラスの生徒は同じ学習量となります。よって、規定の学習量の単位修得ができない場合は、進級できず留年(原級留置)という考え方になります。

卒業条件・単位修得条件



通信制高校の登校日数の考え方（全日制比較）

<全日制高校と通信制高校の登校日数の比較>

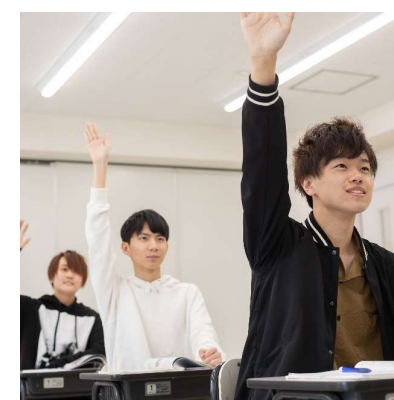
全日制高校

通信制高校



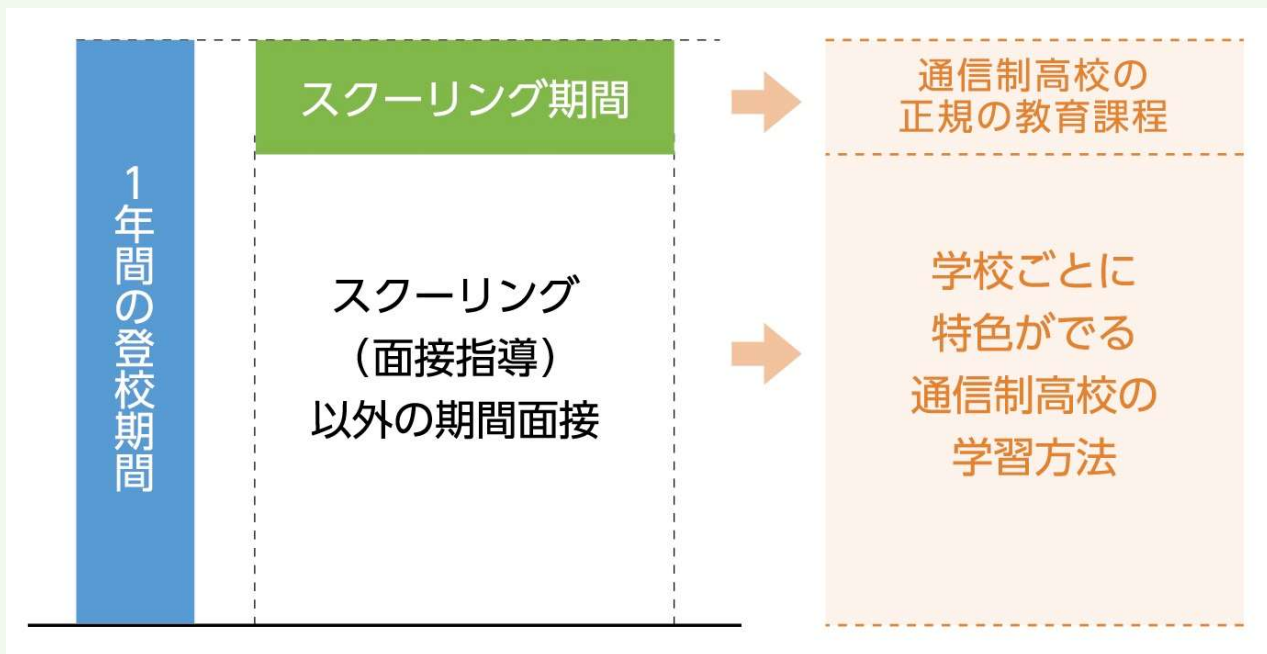
通信制での学び

通信制高校は登校日数ではなく出席時間数が基準



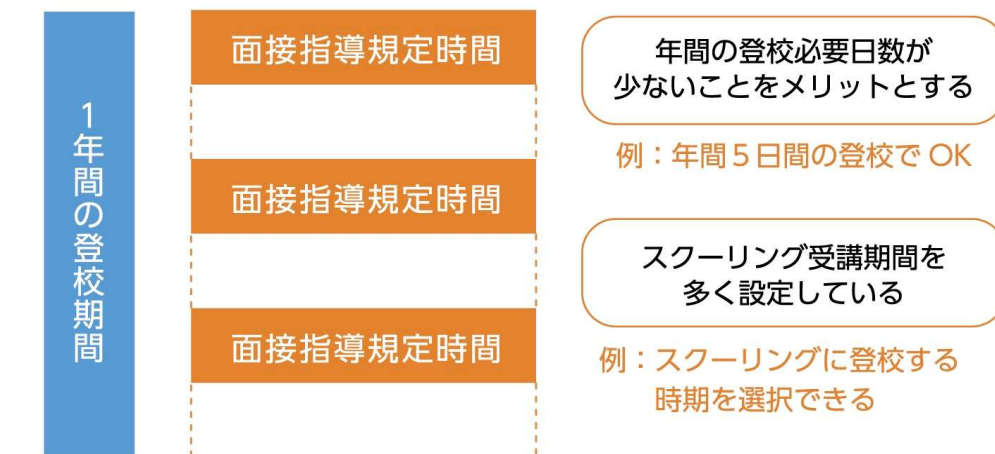
変化する通信制高校の学びの形

1. 従来はスクーリング期間のみ登校するスタイルが主流
2. 登校機会増で特色ある教育内容を設定する学校が増加
3. 学校の特色が色濃く反映されるようになった。

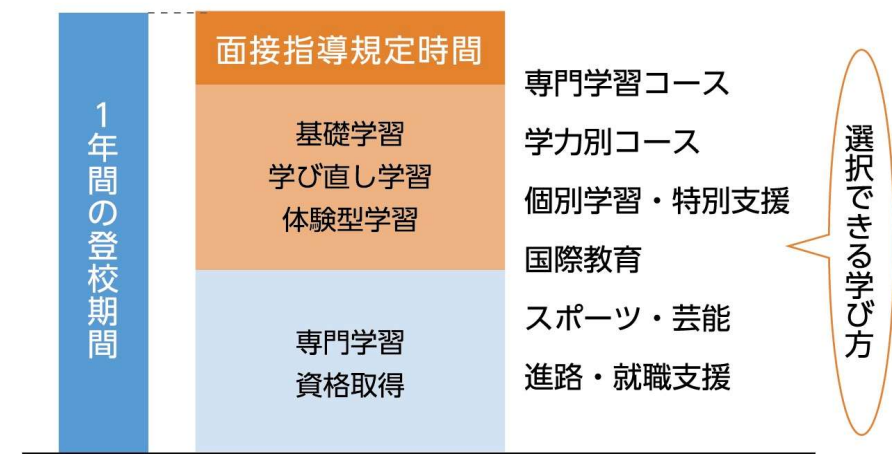


変化する通信制高校の学びの形

1 スクーリング開講時間数に特色

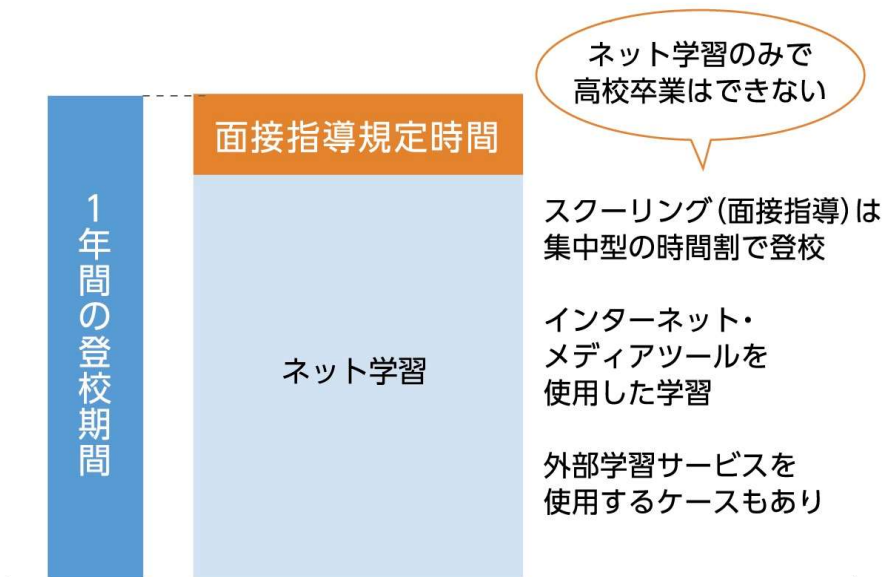


2 通学型コース

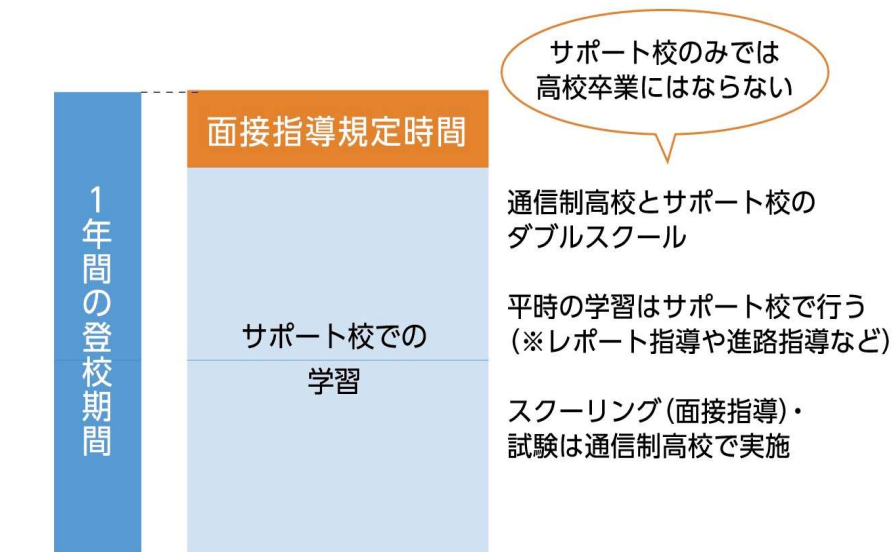


— 変化する通信制高校の学びの形

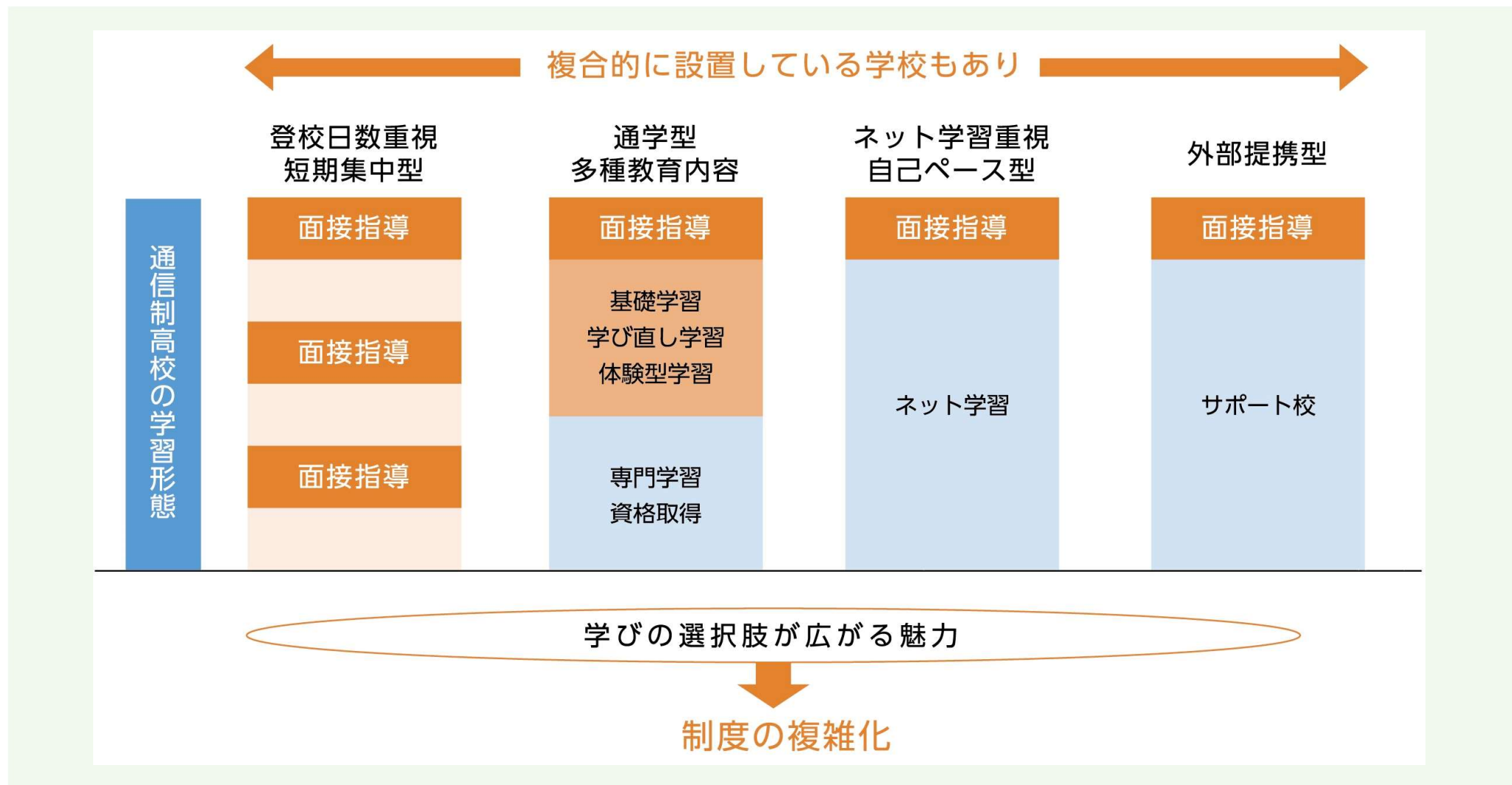
3 ネット学習型のコース



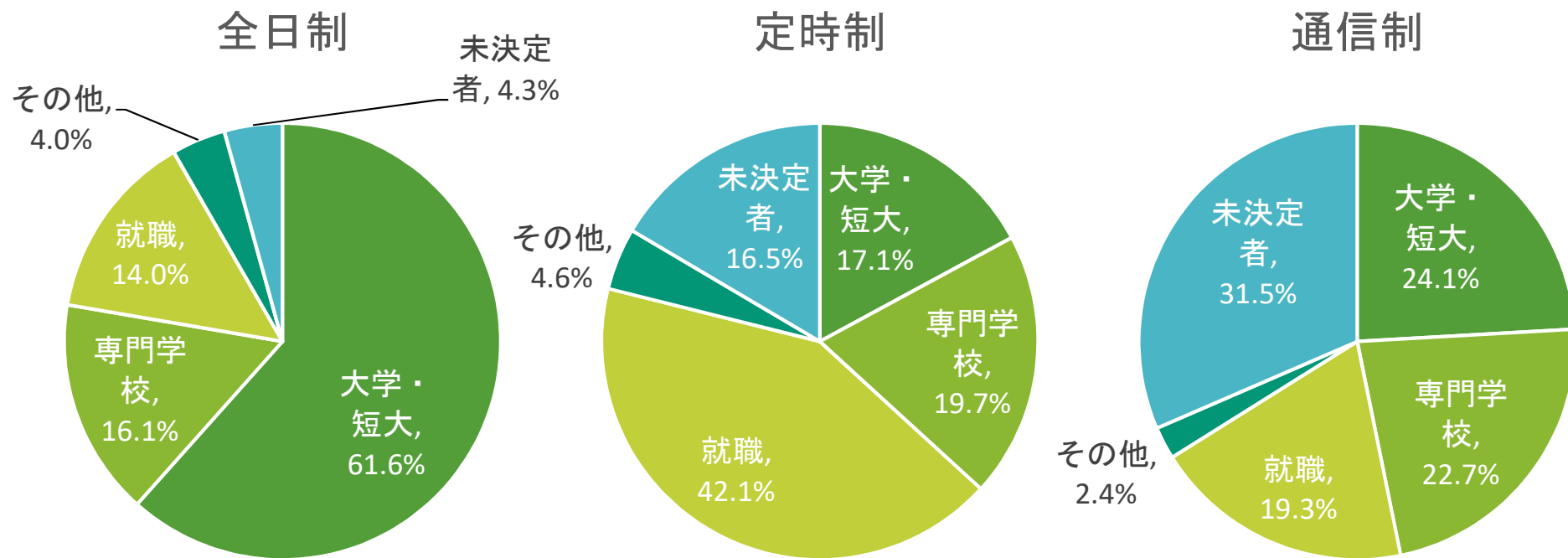
4 外部教育機関と提携する学校 (サポート校など)



変化する通信制高校の学びの形

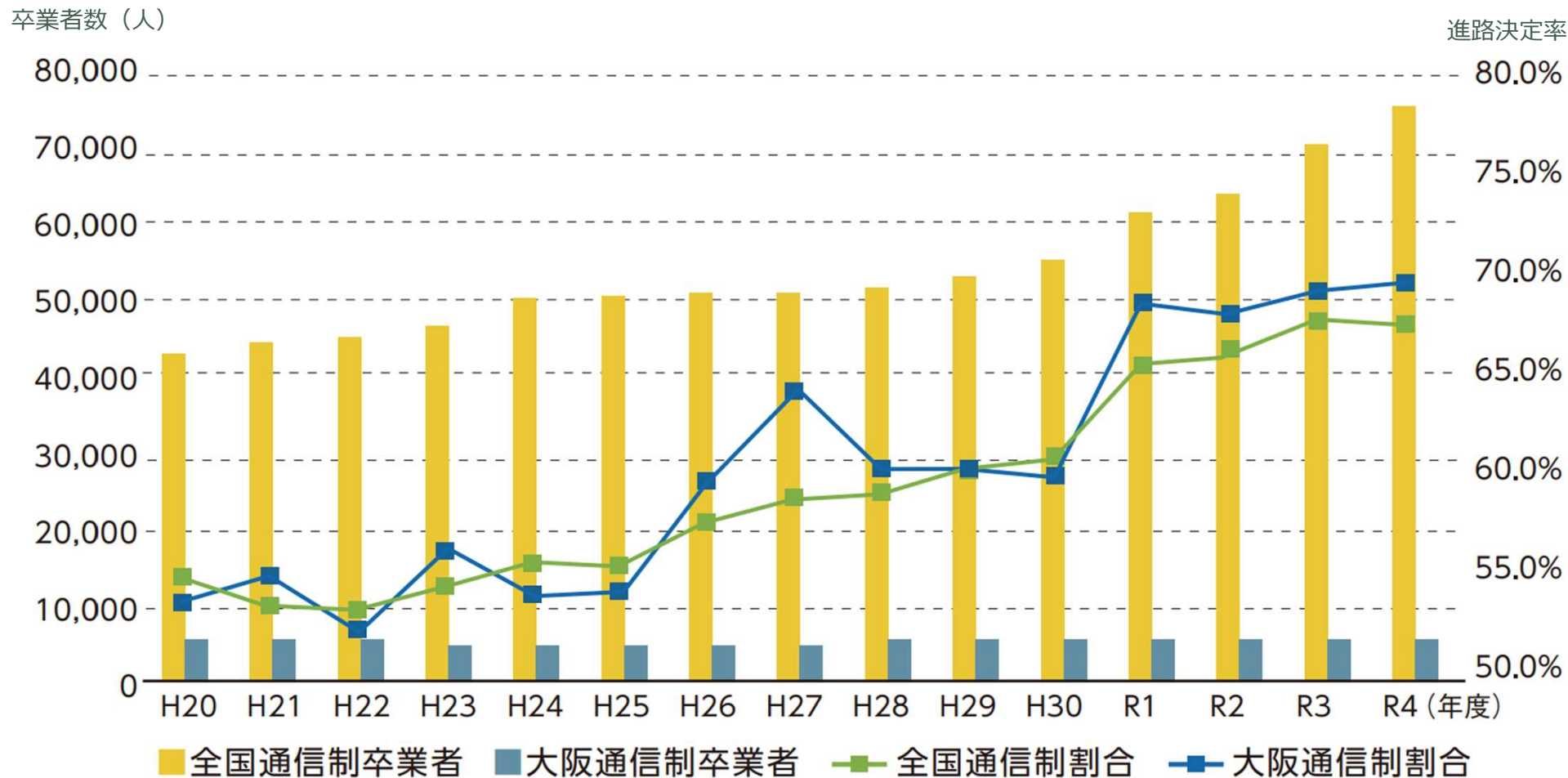


高等学校の進路の現状（課程別比較）



(参考) 文部科学省「学校基本調査」令和4年度

通信制高校の進路決定状況



(出典) 文部科学省「学校基本調査」

通信制高校の進路指導の現状と課題

一般的な通信制高校の進路指導のイメージ

通信制高校から
進学や就職ができるのか

進学や就職の受験の際に
不利にならないか

通信制高校はそもそも
進路指導をしているのか

進学や就職はもちろん可能。
通信制高校の卒業資格だからと受験の際に不利になることはない。

通信制高校の進路指導の課題

1. 学力や進路希望の幅が大きいため個別進路指導の強化が求められる。
2. 進路希望を持つことの動機付けができる体験や学習が必要。
3. 自己肯定感の向上を含むメンタルヘルスサポート



大阪私立中学校高等学校連合会
大阪通信制高校グループ

高等学校等就学支援金の支給額

モデル世帯 の年収めやす	課税標準額×6% －調整控除額	全日制高校 専修学校高等課程等	通信制高校 (単位あたり授業料)	通信制高校 (定額授業料)
590万円未満	154,500円未満	月額33,000円 (年額396,000円)	1単位あたり 12,030円	月額24,750円 (年額297,000円)
910万円未満	304,200円未満	月額9,900円 (年額118,800円)	1単位あたり 4,812円	月額9,900円 (年額118,800円)
910万円以上	304,200円以上	対象外	対象外	対象外

大阪府授業料支援補助金の制度変更

令和6年度1年生は現行制度

授業料	年収（めやす）別の保護者負担額		
	590万円未満	590～910万円	910万円以上
1単位あたり10,032円まで	無償	1単位あたり（授業料-4,812円）を保護者が負担 *国就学支援金のみ	授業料全額 *対象外
1単位あたり10,032円超過分	無償（※）		

2年生からは新制度

授業料	年収（めやす）別の保護者負担額		
	590万円未満	590～910万円	910万円以上
1単位あたり12,030円まで	無償		
1単位あたり12,030円超過分	無償（※）	1単位あたり（授業料-12,030円）を保護者が負担	

（※）超過分は学校負担により、保護者負担は生じません。



制度移行
スケジュール



大阪私立中学校高等学校連合会
大阪通信制高校グループ

1 大阪通信制高校グループとは

2 通信制高校の基本知識

3 数字で見る通信制高校

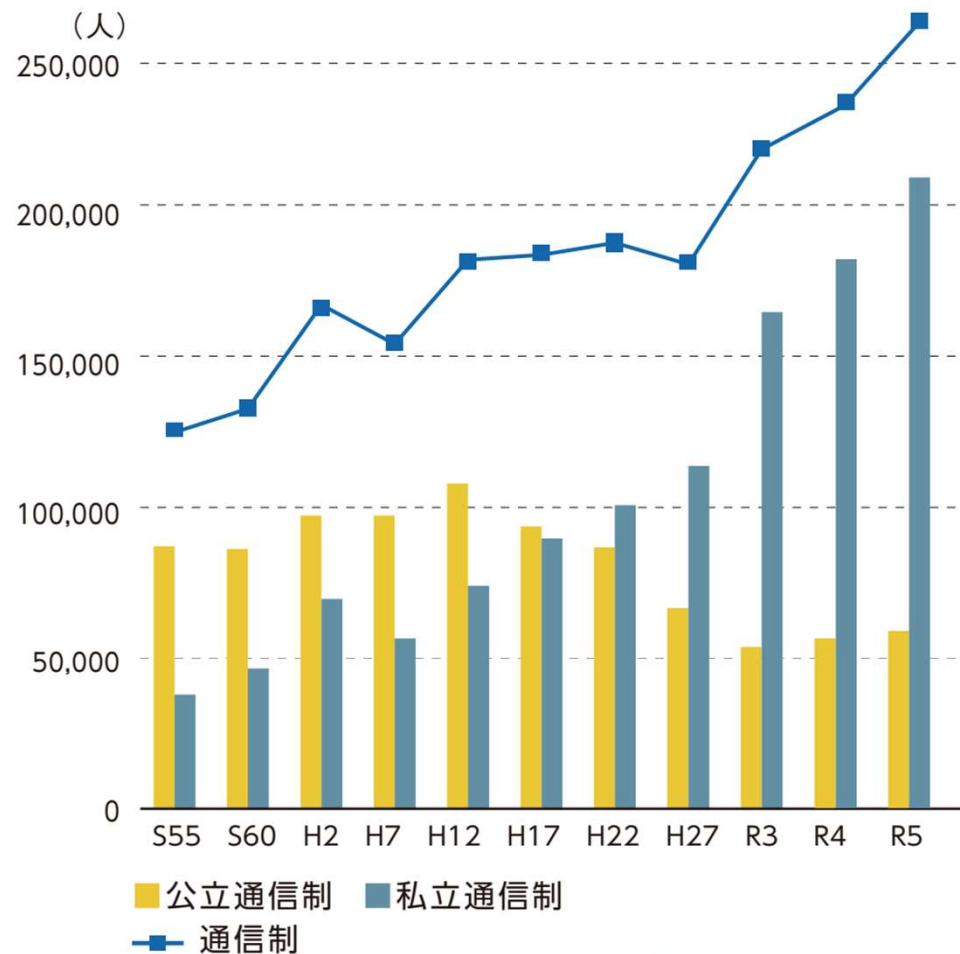
4 大阪の通信制高校の現状

5 今後の通信制高校教育

高等学校の生徒数（公私別推移）

	全日制定時制	通信制		
		公立	私立	計
S55	4,621,930	87,104	37,766	124,870
S60	5,177,681	86,282	46,362	132,644
H2	5,623,336	97,271	69,715	166,986
H7	4,724,945	97,330	56,653	153,983
H12	4,165,434	107,854	74,023	181,877
H17	3,605,242	93,770	89,748	183,518
H22	3,368,693	86,843	100,695	187,538
H27	3,319,114	66,702	113,691	180,393
R3	3,008,182	53,880	164,548	218,428
R4	2,956,900	54,621	183,646	238,267
R5	2,918,501	57,437	207,537	264,974

(人)



(※1)全日制定時制課程の生徒数には、専攻科・別科に属する生徒数を含む。
 (※2)通信制課程の生徒数には、他からの併修者の数は含まれていない。

(出典)文部科学省「学校基本調査」

高校生に占める通信制生徒割合（公私）

区分	2021年度		2022年度		2023年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全日制	2,924,458	90.9%	2,876,251	90.3%	2,839,299	89.4%
定時制	74,482	2.3%	71,667	2.2%	70,389	2.2%
通信制	218,428	6.8%	238,314	7.5%	264,797	8.3%
合計	3,217,368	100.0%	3,186,232	100.0%	3,174,485	100.0%
通信制の割合	14.7人に1人		13.4人に1人		12.0人に1人	

（出典）文部科学省「学校基本調査」

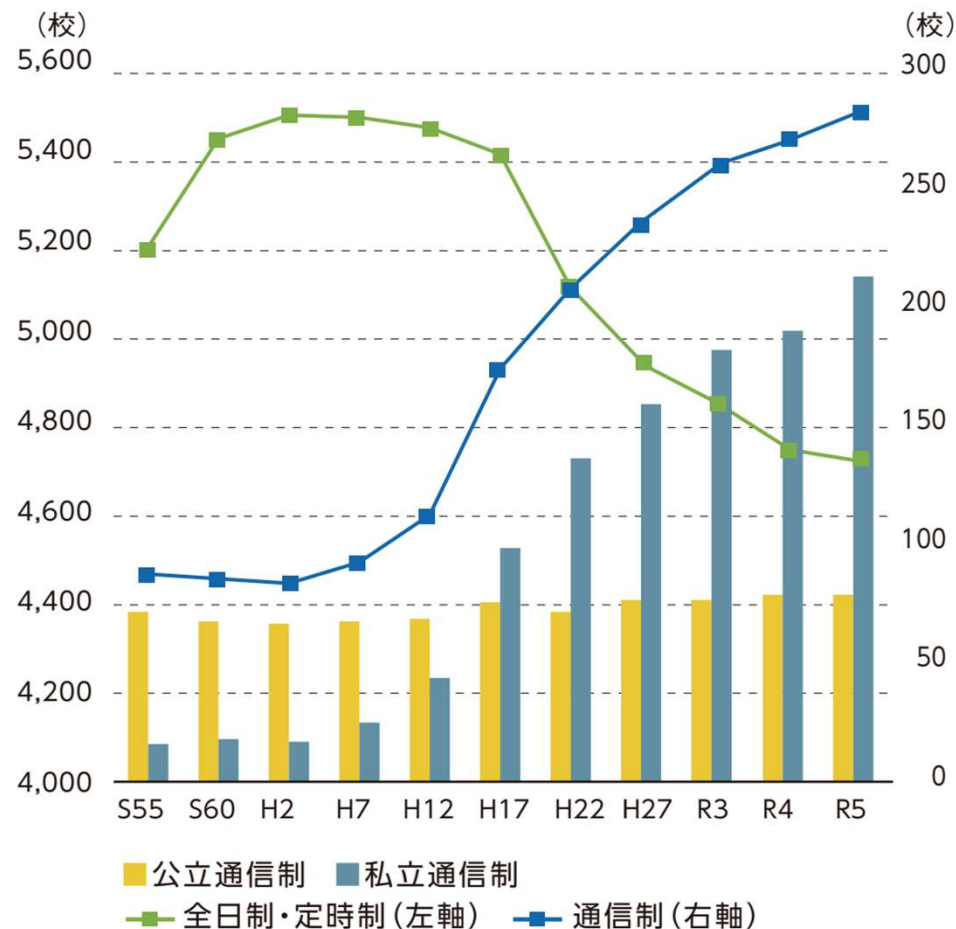
——私立高校生に占める通信制生徒割合（公私）

区分	2021年度		2022年度		2023年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全日制	1,002,199	85.7%	1,009,449	84.4%	1,005,313	82.7%
定時制	2,483	0.2%	2,346	0.2%	2,237	0.2%
通信制	164,548	14.1%	183,693	15.4%	207,542	17.1%
合計	1,169,230	100.0%	1,195,488	100.0%	1,215,092	100.0%
通信制の割合	7.1に1人		6.5人に1人		5.9人に1人	

（出典）文部科学省「学校基本調査」

高等学校の学校数（公私別推移）

	全日制定時制	通信制		
		公立	私立	計
S55	5,208	72	16	88
S60	5,453	68	18	86
H2	5,506	67	17	84
H7	5,501	68	25	93
H12	5,478	69	44	113
H17	5,418	76	99	175
H22	5,116	72	137	209
H27	4,939	77	160	237
R3	4,857	77	183	260
R4	4,824	78	196	274
R5	4,791	78	211	289



(出典) 文部科学省「学校基本調査」

1 大阪通信制高校グループとは

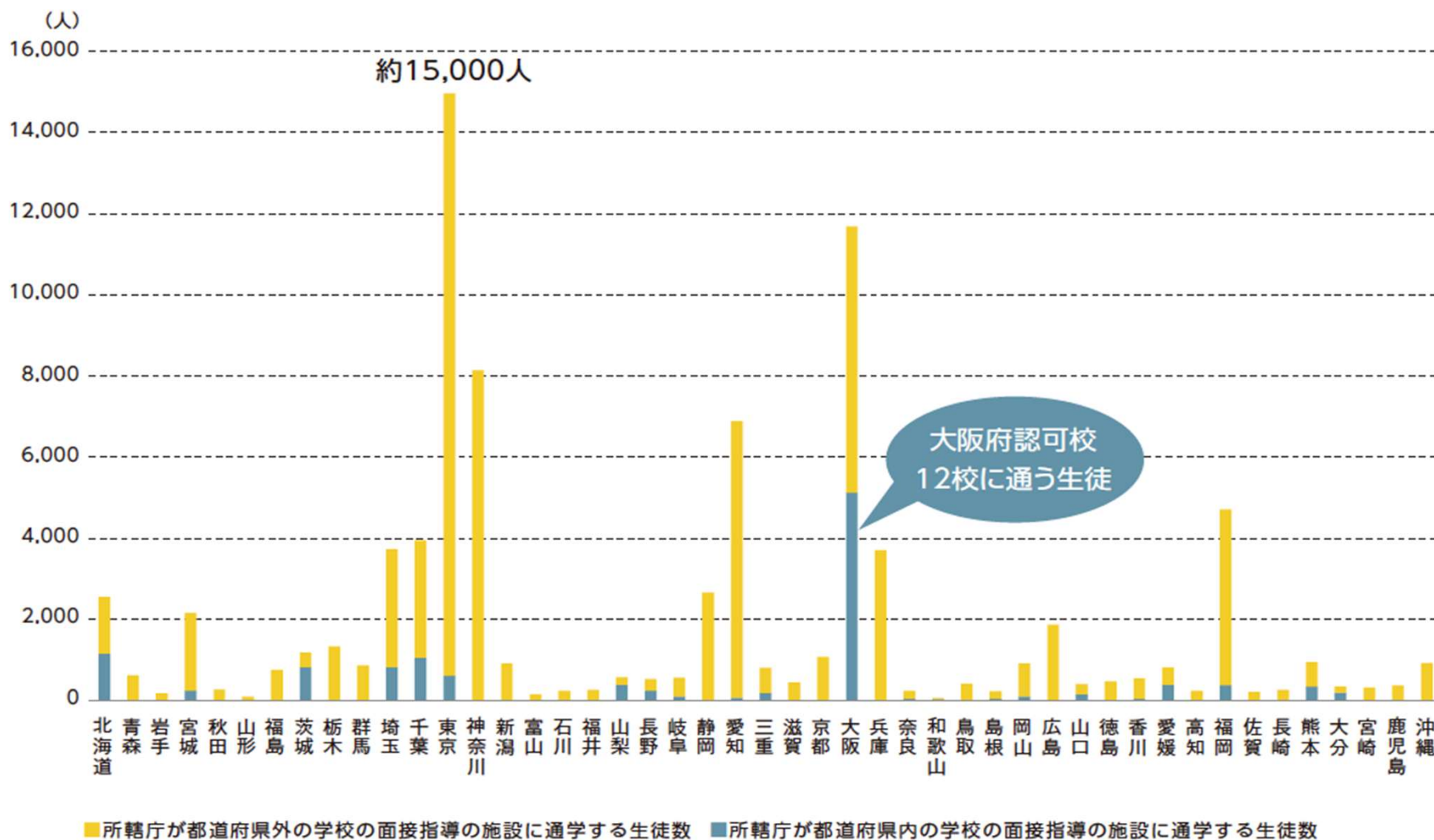
2 通信制高校の基本知識

3 数字で見る通信制高校

4 大阪の通信制高校の現状

5 今後の通信制高校教育

広域制通信制高校が大都市圏に集中する現状



(出典) 文部科学省「広域通信制高等学校の展開するサテライト施設一覧」(令和元年5月1日現在)より作成

大阪府下の通信制高校の運営状況



<参考資料>

NPO法人 全国私立通信制高等学校プラットフォーム
2024年度全国連携協力施設数調べ



大阪府通信制高校グループ12校
大阪府認可学校法人立の通信制高校



大阪府公立通信制高校 1校
大阪市株式会社立通信制高校 1校



他府県認可通信制高校のサテライト施設



技能連携校



サポート校



大阪府下には、「通信制高校」と名のつく教育施設が多数あり、令和6年の調査においては、大阪府下に約280施設の通信制高校があることが分かっています。

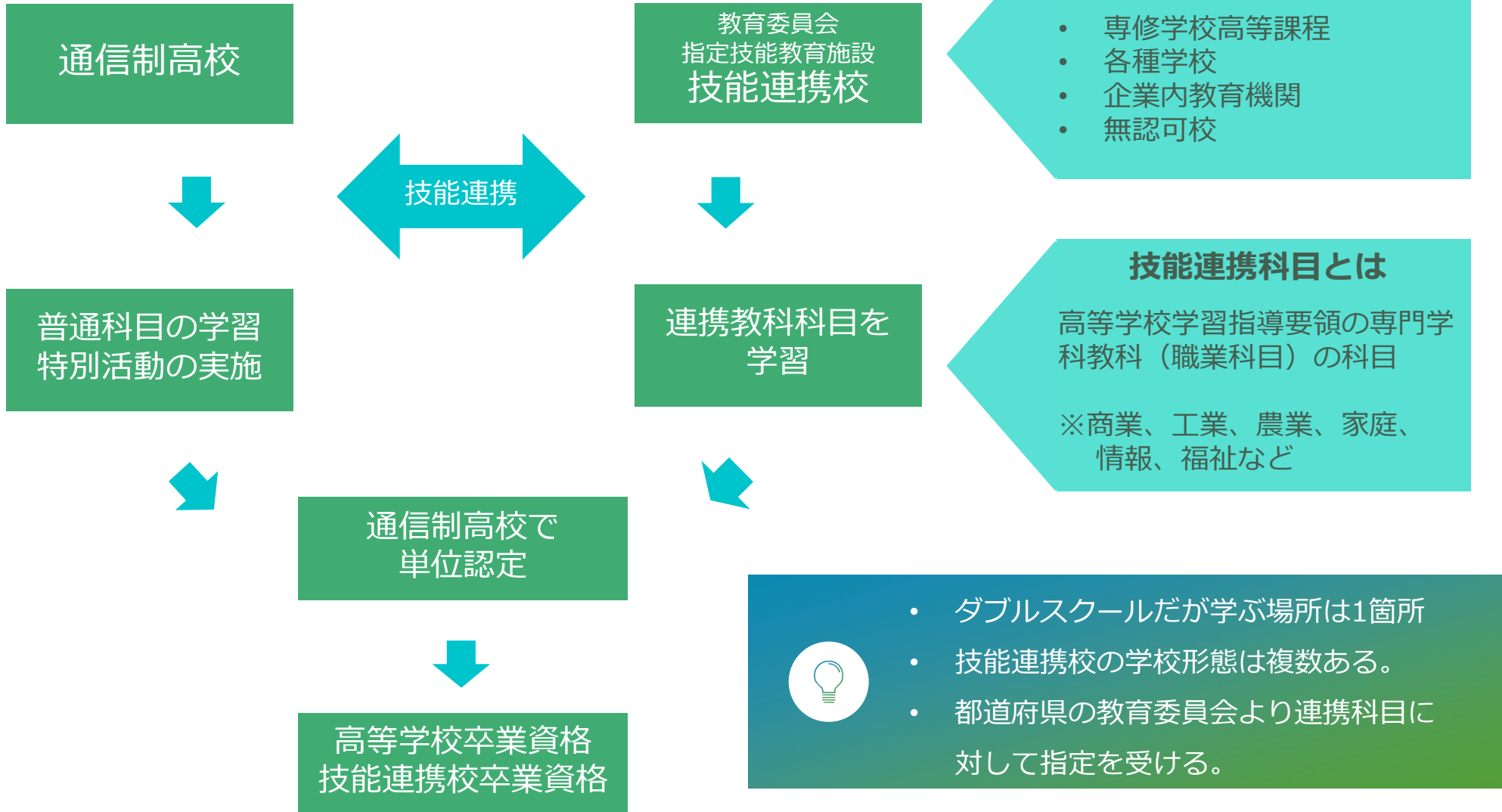
大阪府下の通信制高校の運営状況



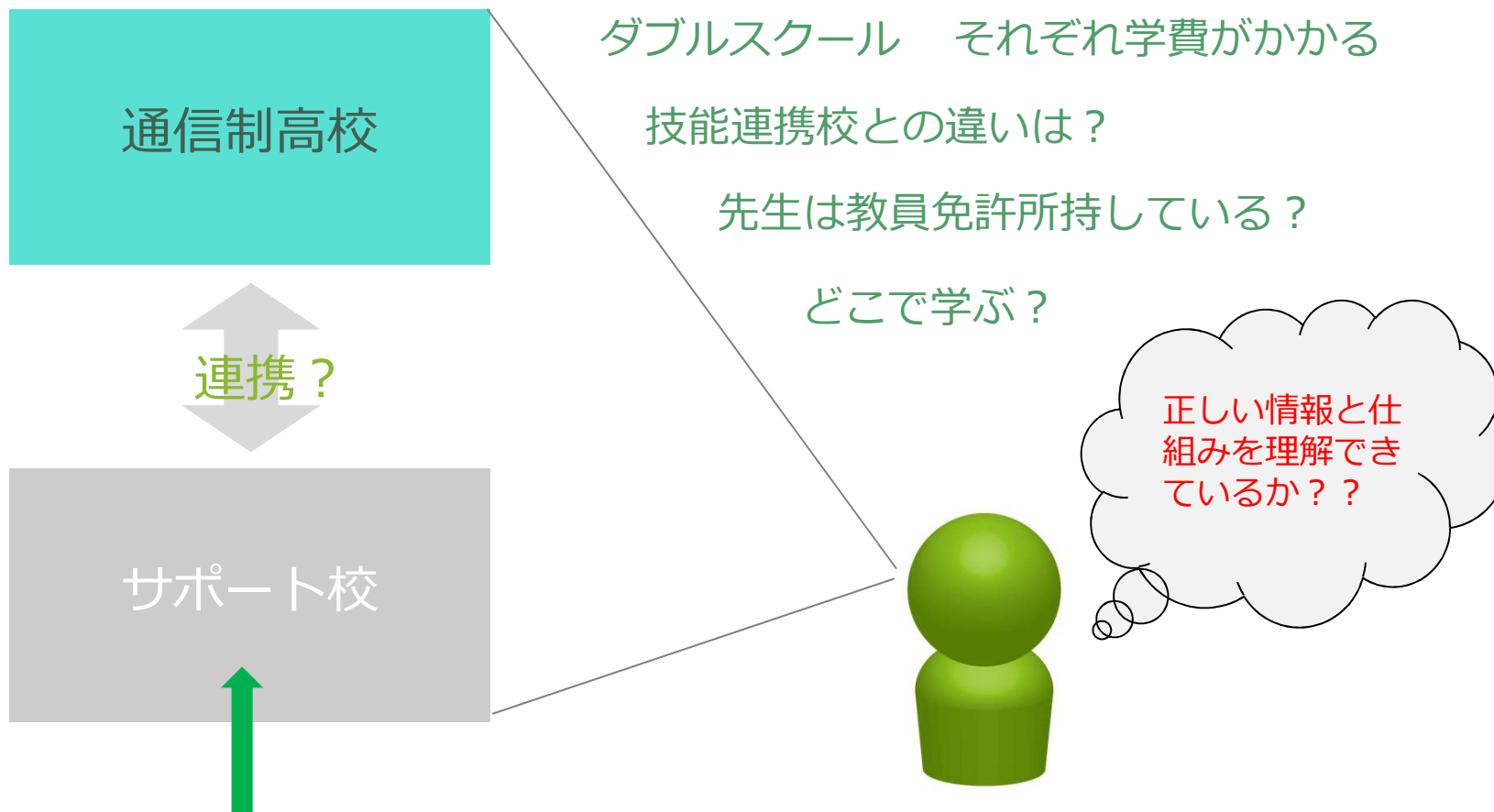
大阪府の通信制高校は
何校ありますか？



技能連携制度のしくみ

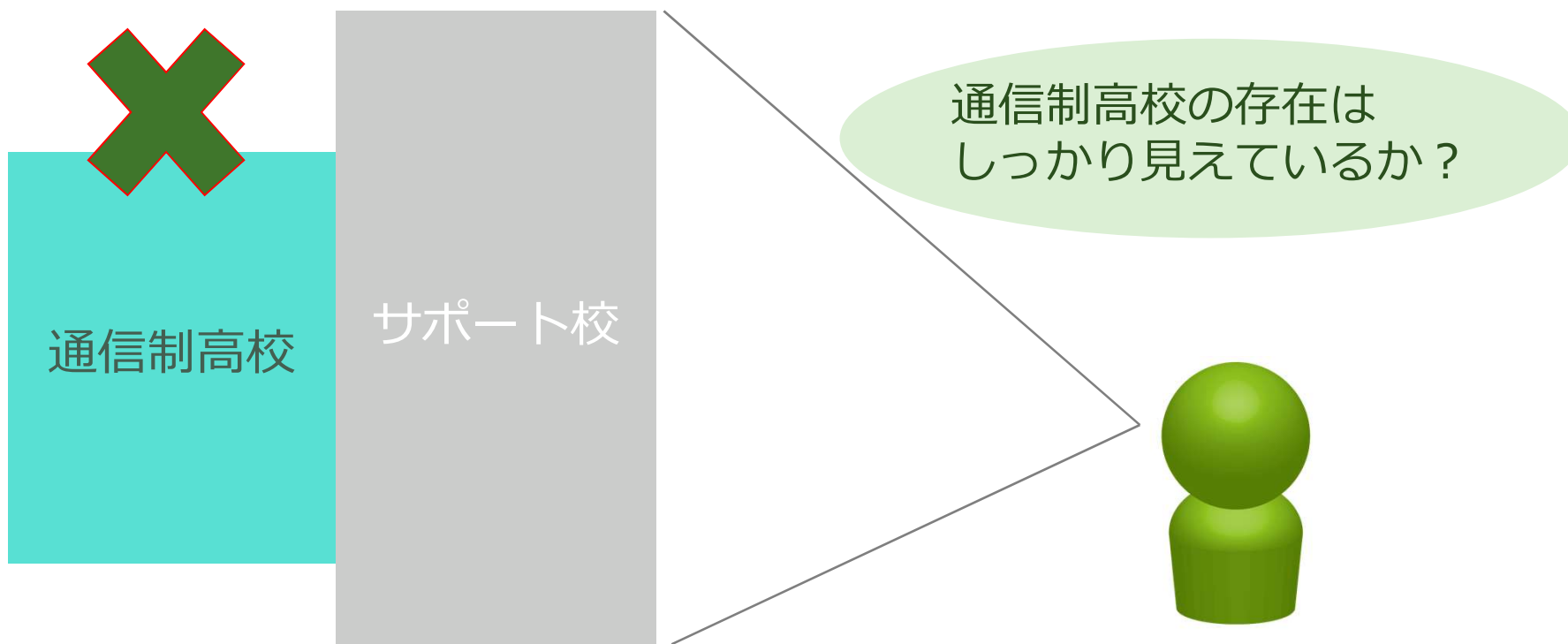


——サポート校と連携する学校を選択する際に



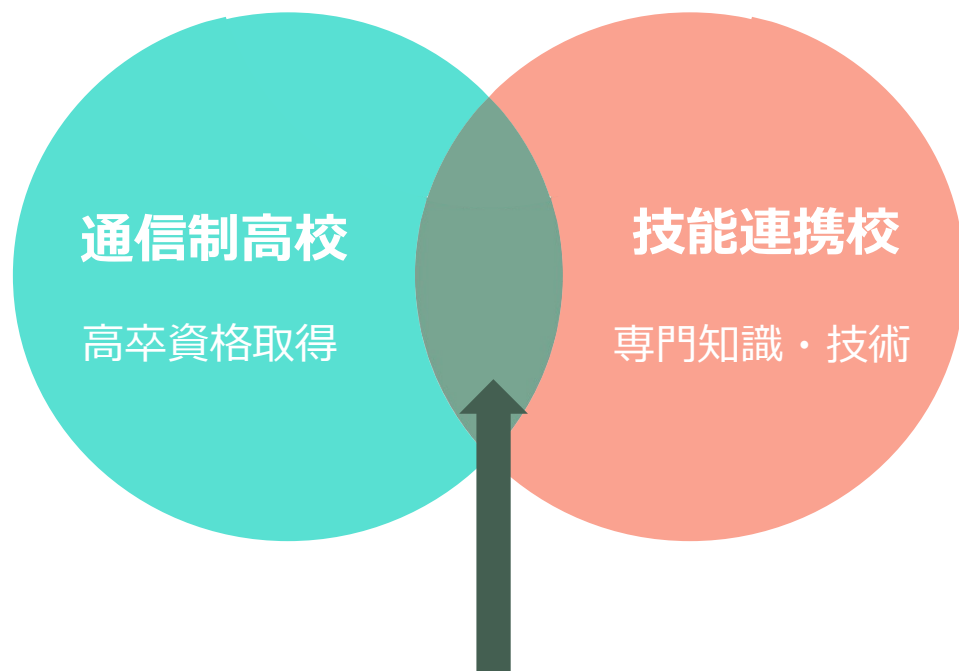
サポート校単独では高校卒業資格は得られない。

——サポート校と連携する学校を選択する際に



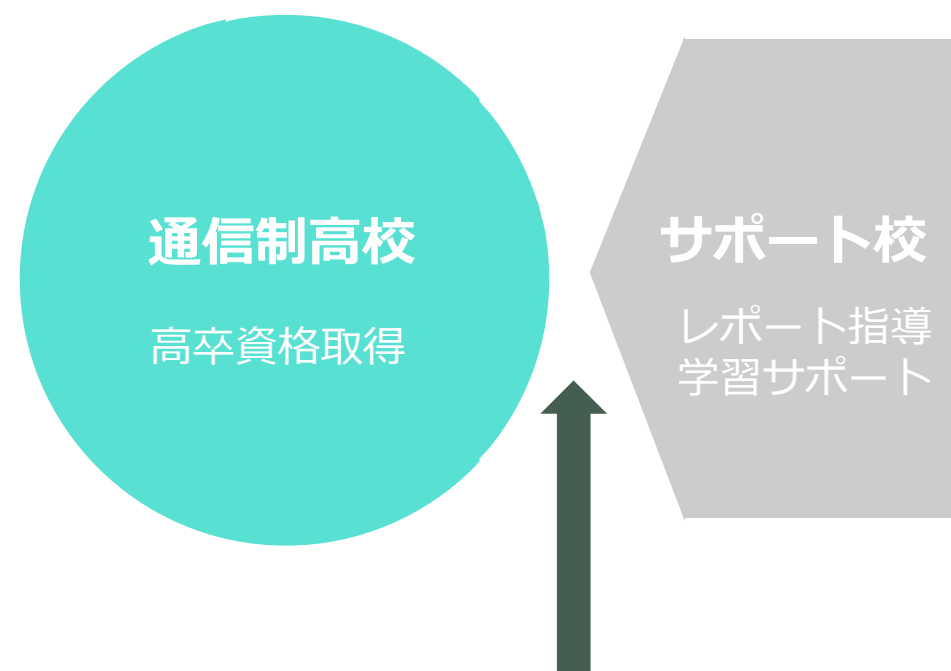
技能連携校とサポート校の違い

技能連携校の場合



技能連携校の学習の一部が通信制高校の卒業単位として認定される。

サポート校の場合



通信制高校の卒業単位としては認められない。

1 大阪通信制高校グループとは

2 通信制高校の基本知識

3 数字で見る通信制高校

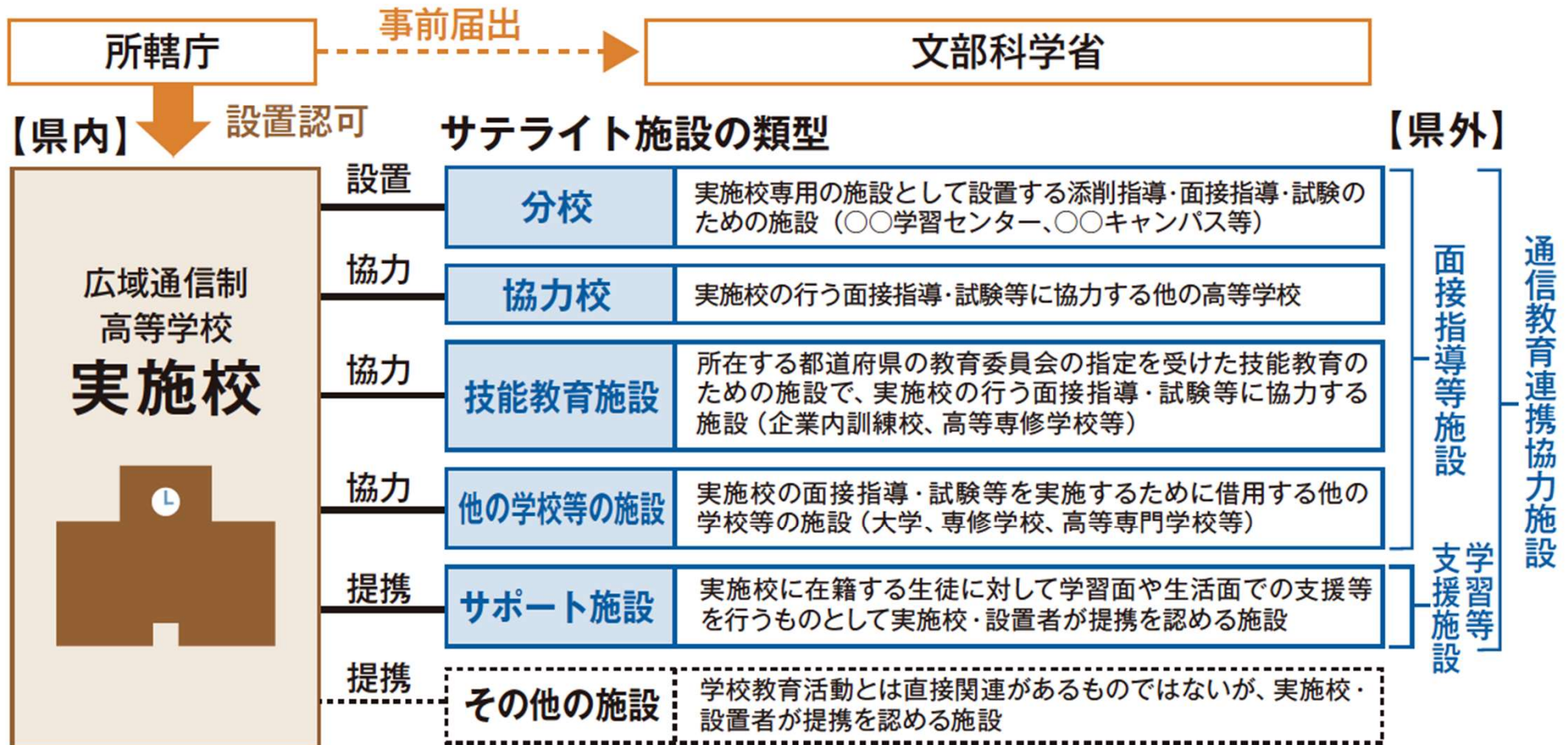
4 大阪の通信制高校の現状

5 今後の通信制高校教育

文部科学省の取組について

年度	内容
令和4年度	「『令和の日本型学校教育』の実現に向けた通信制高等学校の在り方に関する調査研究協力者会議」審議まとめ（8月）
	合同点検調査による所轄庁間の連携協力に向けた事務契約書（案）作成、合同点検調査実施（11月）
	高等学校通信教育規程の改正、「ガイドライン」の改訂
	所轄庁向けの広域通信制高校のサテライト施設の最新情報や指導監督のためのノウハウの共有、データの共有を行うための都道府県間プラットフォームの構築を予算事業にて実施（12月）
令和5年度	「高等学校教育の在り方ワーキンググループ 中間まとめ」（8月）
	通信制課程に係る私立高等学校の認可基準（標準例）の策定（11月）
令和6年度	中学校等の教職員や生徒・保護者等が通信制課程の制度や特徴などを正しく理解できるようにするためのウェブサイト構築に向けた委託調査事業を実施（予定）
	各校において関係法令・ガイドラインで定める内容を実施できているか確認するための「自己点検チェックシート（仮称）」の試行実施（予定）

広域通信制高校のサテライト施設の類型について



今後求められる通信制高校の在り方

※ 高等学校教育の在り方ワーキンググループ 中間まとめ（令和5年8月）より要約



支援体制の整備

生徒が自立した学習者として社会で生きるための資質・能力を身につけられるよう、必要な支援体制を整えることが重要。



人間関係の構築

登校回数が少ない中で、人間関係を築き、自分の良さや可能性を認識し、多様な人々と協働する機会を充実させることが求められる。



多様な生徒の在籍

通信制課程には、勤労青年だけでなく、多様な課題を抱える生徒が多く在籍している現状がある。



セーフティネットとしての役割

不登校経験者や特別な支援が必要な生徒に対して手厚い支援を行う学校もあり、多様な生徒の学びに対するセーフティネットとなっている。



質の確保・向上

一部に違法・不適切な学校運営や教育活動が指摘されているため、通信制高校の質の確保・向上が必要である。



公立通信制高校の強化

私立通信制高校の生徒数が増加している一方で、公立通信制高校の生徒数は減少傾向にあり、魅力向上・機能強化が必要である。



情報発信と実態調査

国などが通信制課程の制度や特徴を分かりやすく情報発信し、不登校経験者が高等学校進学後の見通しを持てるよう継続的な実態調査を行うことが重要である。



高等学校教育の在り方
ワーキンググループ
中間まとめ（本文）



生徒を主語にした
高等学校教育の実現
に向けた取組

通信制高校へのニーズの変化と期待される学習形態

過去の主なニーズ

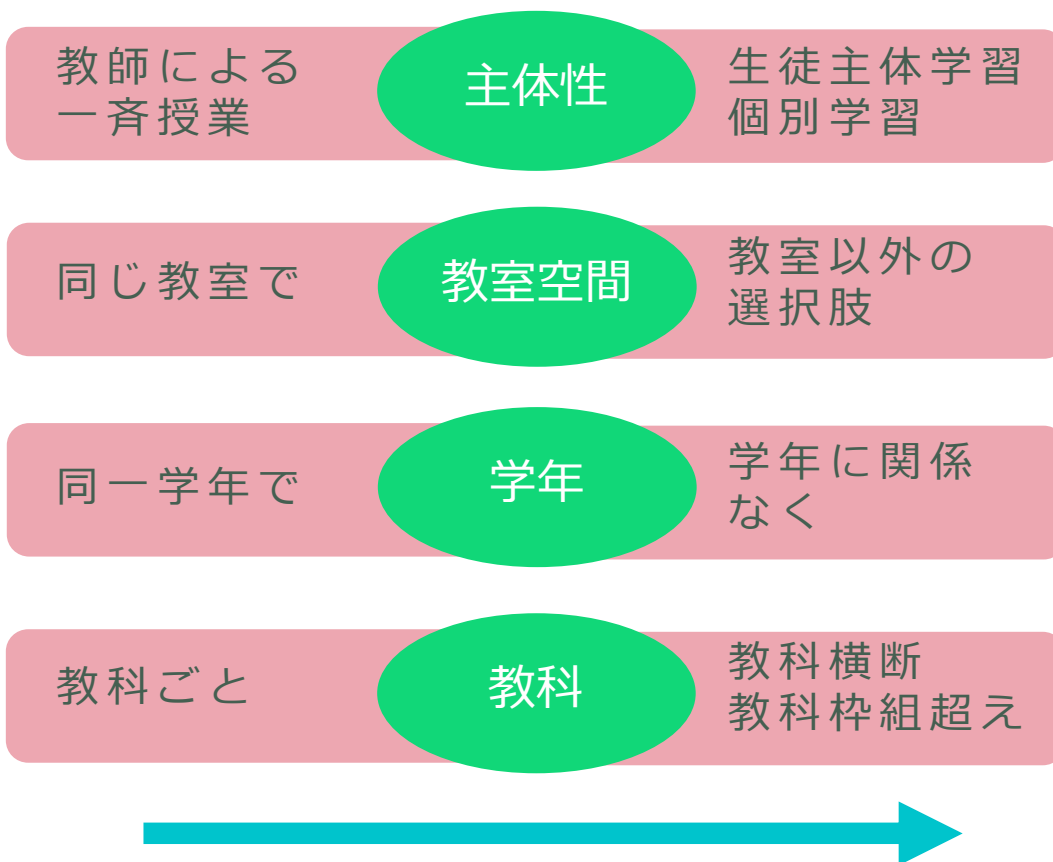
- 働きながら学びたい
- 登校日数を少なくしたい
- 学習負担を軽減したい
- 短期間で卒業したい



現在の主なニーズ

- 沢山学校へ通いたい
- 自分のペースで学習したい
- ゆっくりと人間関係を築きたい
- 基礎学力から身につけたい
- 専門的な学習をしたい
- 確実に自分の進路を決定したい

期待される学びの形態



まとめ

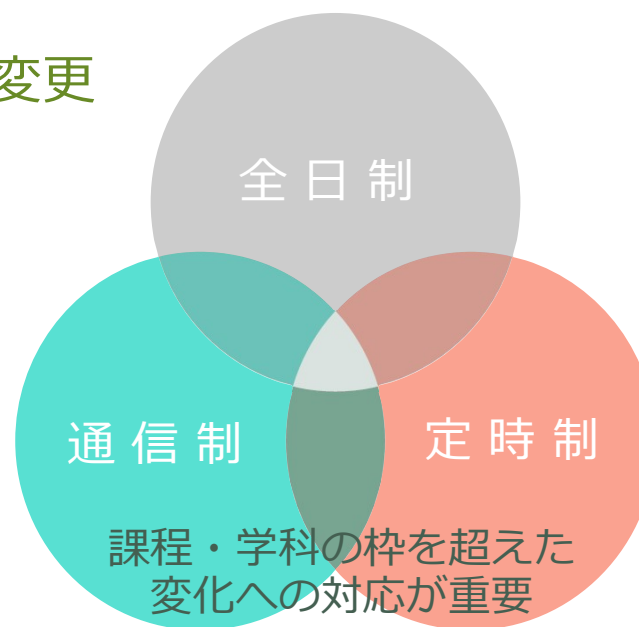
1 通信制高校の増加と15歳人口の減少

2 国・文部科学省による制度変更

3 全・定・通の課程区分

4 公立・私立について

5 大阪通信制高校グループのこれから



2024年度大阪通信制高校グループ合同相談会

対象 大阪府認可 大阪通信制高校グループ
保護者・生徒の方

夏の合同相談会

日時 2024年 7月26日(金) 10時～16時

場所 天満橋OMMビル2F 参加 無料 予約不要

大阪府認可私立通信制高校12校が一同に会し、合同の相談会を実施します。各校入試担当者からの説明を受けていただける貴重な機会です。是非ご参加ください。

PROGRAM

10時00分～16時00分 各校個別相談ブース ※お気軽にご相談ください。
13時30分～14時20分 通信制高校の説明
14時30分～16時00分 各校学校紹介・生徒インタビュー
※当日の状況によって、内容や時間が変更になることがあります。

大阪府認可私立通信制高校12校の学校紹介は裏面をご覧ください。

主催：大阪通信制高校グループ

大阪府認可 大阪通信制高校グループ

秋の

合同相談会

2024年度 通信制高校

日時 2024年 11月4日 月・祝 10時～16時30分

場所 天満橋OMMビル2F [Bホール]

内容

- 10:30～通信制高校の説明
- 11:00～各学校紹介
- 12:00～生徒インタビュー
- 13:00～通信制高校の説明
- 13:30～各学校紹介
- 14:30～生徒インタビュー

※当日の状況によって、内容や時間が変更になることがあります。 生徒カフェスペースもあります!

HPIはこちら 

